

いま  
ボクたちは今  
もみじがりに来ています！

けしき  
きれいな景色だなあ～

わがし  
こんなところにおいしい和菓子と  
お茶があったら最高だなあ！

ふふふ

オイオイ

た  
ポカはいつも食べることばかりだな  
もみじがりは、なにかを食<sup>た</sup>べる  
イベントじゃないんだよ！

はなみ かん こうよう み  
オイラ、お花見みたいな感じで、紅葉を見ながら  
おいしいお茶とお茶菓子<sup>ちや ちやがし</sup>をいただく行事かと  
おも  
思ってたよ～

もみじがりって、  
けっきょくに  
結局何を<sup>け</sup>するものなの？

もみじ<sup>が</sup>“狩り”だから・・・  
もみじを集める<sup>あつ</sup>行事<sup>ぎょうじ</sup>なんじゃないのかな？  
いえ<sup>いえ</sup>あき<sup>あき</sup>も<sup>も</sup>かえ<sup>かえ</sup>  
家に秋を持って帰るみたいな？

# 狩り

えーっと

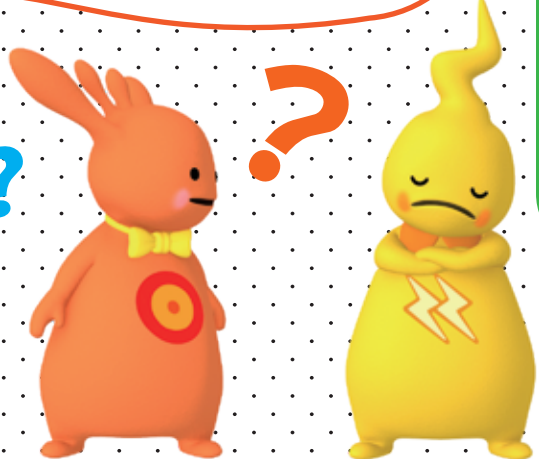
もみじがりは、<sup>あか</sup>赤く<sup>そ</sup>染まった  
こうようじゆ<sup>は</sup>広葉樹<sup>は</sup>の葉<sup>み</sup>を見て<sup>たの</sup>楽しむ  
ぎょうじ  
行事のことなんだよ。

こうようじゆ  
広葉樹!? ということは、  
もみじじゃなくてもいいのか～！

もみじがりは、<sup>ならじだい</sup>奈良時代から  
<sup>むろまちじだい</sup>室町時代にかけて、<sup>きぞく</sup>貴族<sup>あいだ</sup>の間で  
ひろ  
広まった文化<sup>ぶんか</sup>なんだって。

もみちという言葉は、  
<sup>ことば</sup>  
<sup>げんそん</sup>現存<sup>さいこ</sup>する<sup>わかしゅう</sup>最古<sup>まにようしゅう</sup>の和歌集  
万葉集にもあるんだよ。

むかし<sup>は</sup>昔は、葉<sup>くさ</sup>っぱや草<sup>あか</sup>が赤<sup>きいろ</sup>や黄色<sup>もみ</sup>に  
かわる<sup>か</sup>ことを、<sup>どうし</sup>動詞<sup>もみ</sup>でもみつ<sup>い</sup>（紅葉<sup>もみ</sup>つ、  
黄葉<sup>い</sup>つ）<sup>めいしか</sup>と言<sup>へいあんじだい</sup>っていたんだ。それが  
名詞<sup>めいしか</sup>化<sup>へいあんじだい</sup>して、平安時代にはもみちとなり、  
<sup>げんざい</sup>現在<sup>だくおん</sup>は濁音<sup>だくおん</sup>がついてもみぢ<sup>だくおん</sup>になったんだって



いろ か は  
色が変わる葉っぱがもみじ？  
もみじって、あの<sup>まんじゅう</sup>お饅頭の形に  
なっているやつだけじゃないの？？

もみじ=カエデの<sup>は</sup>葉  
という訳ではないということ！？

カエデは、<sup>は</sup>葉の形がカエルの<sup>て</sup>手に似ているから、  
そう呼ばれるようになったんだって。  
秋に目立って色を変えるカエデの仲間を  
もみじと呼ぶようになったんだよ。

もみじがりをするためには、<sup>のやま</sup>野山まで歩く必要があるよね？  
でも、<sup>かち</sup>徒歩は<sup>へいみん</sup>平民のすることで、<sup>じょうひん</sup>上品ではないことと  
されていた。<sup>へいあんじだい</sup>平安時代の<sup>きぞく</sup>貴族は、<sup>であるく</sup>出歩く際は<sup>さい</sup>牛車などに  
乗るのが<sup>いっぱんてき</sup>一般的だったんだ。

でも、<sup>ぎっしゃ</sup>牛車で<sup>やま</sup>山へ行くのはとっても<sup>たいへん</sup>大変。  
そこで、<sup>こうよう</sup>紅葉を見に<sup>みやま</sup>野山へ行くことを、  
<sup>か</sup>狩りに<sup>みた</sup>見立てたってことなんだ！

なるほど！  
<sup>か</sup>狩りの<sup>ため</sup>為なら、<sup>ある</sup>歩いていても、  
<sup>げひん</sup>下品な<sup>こうい</sup>行為とはならないって  
ことなのか！！





いろいろ い とい わけ 訳が おお 多いなあ～

でも、そういう理由 りゆう で狩り か って言葉 ことば が  
つか つか 使われるようになったんだね

とうじ きぞく 当時の貴族は、はる うめ さくら め 春には梅や桜を愛で、

あき たの 秋にはもみじがりを楽しんで和歌 わか を詠んでいた。

いっぽんしみん ほんかくてき たの 一般市民がもみじがりを本格的に楽しむようになったのは、

えどじだい なかごろ 江戸時代の中頃からなんだって！



ふる ぎょうじ 古くからの行事であるもみじがり！

まだまだきれいな紅葉 こうよう が み 見られる時期 じき

ぜひみんなももみじがりを たの 楽しんでみてね！

